

市町村合併をともに考える 全国リレーシンポジウム2002 in 秋田



報告する
佐々木菊夫氏

9月14日「これから
の市町村のあり方」を
テーマに、総務省など
が主催するシンポジウ
ムが開催されました。
合併現況報告を始め



昨年11月15日に大船渡市と合併し
た旧三陸町長佐々木菊夫氏の合併
体験報告やパネルディスカッショ
ンが行われました。

コーディネーター
秋田魁新報社
常務取締役論説委員長

佐々木悦男

パネリスト

秋田桂城短期大学助教授

秋田県理事

大館市長

総務省大臣官房審議官

西村 清司

パネルディスカッションでは

「合併の動きについての現状」な

ぜ今市町村合併か「(合併の)議論

が進まない理由」「基礎的な地方公

共団体のあり方」などについて、

いろいろの意見が出されました。

企画振興課

☎49 31111 (内線269)

大館市、田代町、比内町の1市

2町で組織する「大館圏域合併

に関する共同研究会」では、合

併に関するアンケート調査を実

施します。大館市では、男女別

年齢別に抽出した4、800人

を対象に11月1日付けで調査票

を郵送しました。みなさまのご

協力をお願いします。



将来のまちづくり

市町村合併

市長リポート

No. 242

市町村合併への関心は、日増しに高まってきています。今回の合併
論議の高まりの背景には、少子高齢化や人口の減少、税収の減少、地
方交付税の見直しや分権時代を迎えて市町村が自立を求められている
ことなどがあげられます。ただ、合併は今に始まったことではありません。
大館市は、昭和26年に大館町と釈迦内村が合併して市となり、
以後、昭和30年には下川沿村を始め6町村を編入、昭和42年には花矢
町を編入し、今に至っています。

合併については、いろいろな意見があるかと思いますが、相手があ
ることであり非常に大きな課題であると考えています。行政効率を
考えれば9万人規模が望ましいでしょうし、秋田県第2の都市を目指
すとすれば10数万人規模まで拡大しなければなりません。合併に向か
うには、まず各地方公共団体の住民の意思統一があり、住民同士の話
し合いへと進むと考えています。

私は、合併に対して消極的ではありません。去る7月23日には、
森吉町議会の研修会において、合併について講演をしてきましたし、
今年4月からは、比内町、田代町と共同で「大館圏域合併に関する共
同研究会」を、市役所内には「市町村合併庁内勉強会」を発足させ、
調査、研究をしています。また、消防、ごみ処理、斎場など従来から
広域で取り組んできたものは、合併にはとらわれずにこれまで同様
行っていきますし、広域化して効率がいいものは、これからも共同で
取り組んでいきたいと思えます。

将来のまちづくりのため、さまざまな観点から市町村合併について
考え、そして、周辺の市町村には、積極的にこちらから出向いて一緒
になって話し合いたいと考えています。

小畑 元